

特別企画

★クラブ間交流を行っているクラブ★

NPO法人 しんじ湖スポーツクラブ 島根県松江市

総合型クラブがその地域に適合し定着・浸透するためには、総合型クラブ単体の取り組みだけでなく、近隣で活動している他団体と相互扶助の関係を築くことが必要となります。

そこで今回は、クラブ間交流を行っているクラブについて紹介します。

1

クラブ概要

地域住民主導で、子どもから高齢者までのニーズにあった企画を開催

宍道町は、平成12(2000)年に文部科学省の「総合型地域スポーツクラブ」地域指定を受け、「参加型」、「動員型」の行政主導から、住民みずからが組織し運営する住民主導による健康な町づくりをめざして取り組みを開始しました。そして、地域の子どもから高齢者まで「いつでも・どこでも・気軽にスポーツを楽しめる環境づくり」を目的に「スポーツ少年団」を核として、平成14(2002)年3月21日に任意団体である「宍道スポーツクラブ」を設立しました。

その後、市町村合併や指定管理者制度導入などクラブを取り巻くさまざまな社会情勢の変化に対応していくため、平成18年に法人格を取得しました。名前も新たに「NPO法人しんじ湖スポーツクラブ」とし、地域住民で構成した運営部会による住民主導のクラブ運営をめざしました。

そして、平成19(2007)年度から町内の3つのスポーツ施設の指定管理者となり活動拠点を確保し、現在、地域住民で構成する4つの部会事業をクラブ運営の柱とし、子どもから高齢者までニーズに応じた教室やイベントの開催、さまざまな団体と連携を取った高齢者健康福祉事業や地域活性化事業、行政から委託された子ども体力向上支援事業などを充実させ、たくさんの人の支援を受けながらクラブの活動が少しずつ地域に浸透しています。また、地域内外からの講師派遣依頼や事業委託依頼も増え、他クラブと交流を図りお互いの地域で事業やイベントを開催することで、クラブの認知度向上や事業発展につながっています。何より、他クラブとの交流はクラブ運営をしていく励みとなり、「可能性を追求」しながら活動を広げることができています。

[会員数]

608名

[定期教室/24教室]

- ・子ども(運動遊び、ダンス、器械体操)
- ・親子(こんぺいとうクラブ)
- ・大人～高齢者(ヨガ、3B体操、ピラティス、動作術、レクダンス、太極拳、介護・認知症・転倒予防教室、トレーニング、楽健法)など

[イベント]

- ・歴史ウォーキング ・あそび塾 ・クラブフェスタ ・各部会事業

[子ども体力向上支援]

- ・わんぱくキッズ広場(幼保園へ運動指導、小学校2校への体育指導)
- ・ジュニアチーム活動支援(スポーツ少年団他地域内ジュニアチーム10チーム)

[地域貢献事業]

- ・キャンドルナイト実行委員会事業
- ・ちょっこし動いて楽しま会
- ・地区集会所講師派遣事業

[正会員・職員・ボランティア]

- ・理事7名、幹事2名、部会委員27名、職員10名(正規5名、パート5名)
- ・ボランティア年間延べ約170名

[部会事業]

- ・事業部:地域住民の子どもから高齢者まで誰もが楽しく体を動かすことができるイベントや野外スポーツ・健康イベント等を企画実施。
- ・健康福祉部:地元の診療所医師や保健師、各種目の講師が地域住民の健康増進のための健康教室やイベント、講座など健康事業を企画実施。
- ・ジュニア部:クラブに登録しているジュニアチーム10チームの代表が子どもたちのよりよいスポーツ環境を整えるために集結し、交流を図ったり各チームの日常における活動の課題を共有し、解決に向けた事業を行う。
- ・施設管理部:利用者が安全かつ快適に活動できる管理を行い、老朽化に対応できる施設管理をめざす。収益、施設稼働率をあげるためにイベント等を企画開催し、施設を有効活用する。

2

県内外のクラブとの連携で事業を拡大

不安を抱えながらのスタート

さまざまなクラブとの交流で課題解決の糸口をつかむ

クラブが設立したころは、総合型クラブのネットワークも少なく相談するところもわからず、運営に日々不安を抱えていました。県からの情報を頼りに研修会に参加し、やがて県外に総合型クラブの組織があることを知りました。そこでさまざまなクラブと交流を深めることで、悩みを解決する糸口や新規事業のアイデアとなるヒント、明日への頑張る力をいただきました。その後、先進地への視察や交流を重ね、全国に「仲間」ができました。そして、ついに県内に総合型クラブのネットワーク「島根県総合型クラブ連絡協議会」ができ、ようやく身近に「仲間」ができたことに大きな喜びを感じました。毎回、情報交換や学びの場で交流を深めながらクラブ運営への力をいただき、この連絡協議会への参加をきっかけに県内の他クラブとの連携事業が始まりました。

講師派遣やイベントなどさまざまなスタイルで交流を実現

[連携① 健康講座や教室での講師派遣]

他クラブと初めて連携を行ったのが平成18(2006)年の健康講座の開催です。

自分に合った健康法を見つけ、日常的な運動実施を促すことを目的に開催した「スマイル健康講座」で、日ごろから交流のある近隣クラブ(2クラブ)のクラブマネジャーに講師として指導をしていただきました。毎回、参加者に対し、クラブが総合型クラブであること、そして身近なところで同じようなクラブが活躍していることを説明しながら、数年間講座を実施してきました。とても魅力的な講座でリピーターやファンも多く、地域内外から多数の方に参加していただいたことからクラブの認知度向上や新規会員の獲得にも繋がりました。また、講師のクラブマネジャーは、総合型クラブを運営していく同じ志を持った「仲間」であり信頼できる「仲間」であることから苦勞したことは一度もありませんでした。

近年では、この繋がりから逆に指導者派遣の要請を受け、クラブインストラクターを派遣するなど事業を拡大することができています。

[連携② 交流イベント/総合型クラブ交流フェスタ参加]

平成28(2016)年度NPO法人SPORTIVOひがしいずもの金山マネジャーからの提案で、ダンスによる「総合型クラブ交流フェスタ」に参加しました。これをきっかけに、以後3年間、島根県エアロビック連盟主催、島根県総合型地域スポーツクラブ共催「はっちゃけ総合型クラブ交流フェスタ」を県内クラブと共に企画・運営しました。持ち回りで主担当クラブが会場を提供し、参加クラブで役割分担を決め事業を実施します。

平成30(2018)年度には、中国ブロッククラブネットワークアクションの企画のため、県内クラブの女性有志が集まり、何か楽しいことをしよう♪と「OCG」(おもっしょくらぶガールズ)が立ち上がったことも、よりクラブの関係性を密にし、イベントは連携事業へと発展していきました。年に一度、他クラブの地域を訪れその土地の人々と交流を深めること、力を合わせやり遂げた達成感や参加者の笑顔に喜びを共に感じたこと、同じ総合型クラブだからこそ感じられたのだと思います。



県内総合型クラブの交流イベント
「Let's go はっちゃけ! 交流フェスタ」

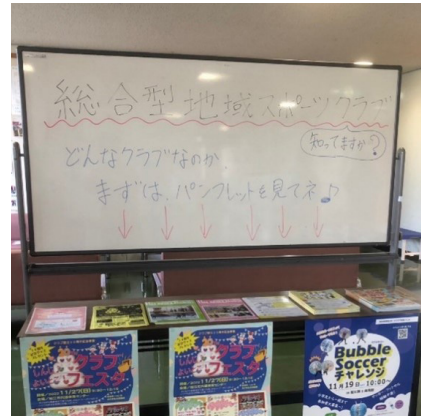
【連携③ 交流イベント/バブルサッカー】

令和4(2022)年度、島根県スポーツ協会の交流イベント助成事業をきっかけに、県内総合型3クラブ(NPO法人斐川スポーツ協会ひかわスポーツ夢クラブ、NPO法人ボアソルテスポーツクラブ、NPO法人しんじ湖スポーツクラブ)が協力し、島根県では体験する機会が少ない「バブルサッカー」を実施しました。オンラインで何度か打ち合わせを行い、当日までの準備・当日の進行など役割分担をして、お互いに情報を共有しながら事業を進めていきました。

当日も、それぞれのクラブが各持ち場の準備・進行を務め、スムーズにイベントを開催することができました。特に、ボアソルテスポーツクラブの中学生スタッフがイベントの進行をしたことがこのイベントの特徴だと思います。中学生が各チームに1人ずつリーダーとして入りサポートしたことで、緊張気味だった小学生の参加者も会話がはずみ、会場全体が楽しい雰囲気となり、参加者は満足した様子でした。



バブルサッカーに参加した小学生は「逆さまになるところがおもしろかった」、「転んでも痛くないから楽しかった」など、普段体験できないスポーツができたことに大満足! 大人の参加者からは「運動量が多くて楽しかった」、「激しくぶつかっても痛くないから、とてもストレス解消になった」など、日ごろの運動不足やストレスの解消にもつながったようです!



会場入り口に総合型クラブと各クラブをPRするコーナーを設けて、認知度向上や各クラブの事業への参加を促しました。チラシを手にとって帰る人や入会の相談をする人など、クラブに興味関心をもっていただくことができ、クラブ活動のPRの場としても効果がありました

【連携④ 交流イベント/動作術体験】

令和5(2023)年に行ったイベント。前の年に声をかけていただき、交流事業を行ったNPO法人斐川スポーツ協会ひかわスポーツ夢クラブへ今度はこちらから声をかけさせていただき、交流イベント助成事業で「動作術体験」を共催しました。感染症の影響により子どもの体力低下に伴う「ケガの多発」、大人や高齢者の「体力及び筋力の低下」、「ストレス過多」を改善するために、全国的に活動を展開されている先生をお呼びし、伝統的な武術の動きに解剖学の知見を加え、筋力に頼らずケガをしにくい体の動かし方を学ぶ場を夢クラブと共に提供しました。当日まで打合せを重ね、一人でも多くの人に参加していただけるようそれぞれが役割を果たし準備を進めたことで、当日は子どもから高齢者まで約100名の方にご参加いただき、真剣かつ楽しく学ぶ時間となりました。

この事業を通してクラブ間の交流を深められたこと、新規会員の獲得に繋がったこと、そして何より参加された方が学んだことを家でも継続したり、学校や園でも取り組んでもらえていることがこの事業の成果だと思われます。



隣町のひかわスポーツ夢クラブとの共催による「動作術体験」

互いの地域を越えてたくさんの方にご参加いただきました。共催したことにより遠方から素晴らしい講師を招くことができ、参加者にも喜んでいただきました

【連携⑤ イベント協力】

しんじ湖スポーツクラブはスポーツだけでなく地域活性化を目的に町内のさまざまな団体と連携を取り実行委員会を立ち上げ、「キャンドルナイト」を開催しています。このイベントは、岡山のクラブ(旧柵原星の里スポレク倶楽部・現美咲町ももたろうクラブ)にご指導ご協力をいただき平成26(2014)年から開催しており、約100名を超える地域住民と東日本大震災の復興を願い、地域のさまざまな場所で1万個のキャンドルに明かりを灯し、被災地へ希望の光を送ろうと一致団結して取り組んでいます。町内外の個人や団体・企業に多数の支援をいただき関わる人が思いを一つにしてさまざまなキャンドルアートを作成し、来場して下さった方々と希望の光を灯します。そのイベントで県内の総合型クラブに協力を呼び掛け、複数のクラブに力をいただいたこともありましたが、コロナ禍で中止にした年もありましたが、人と人とのつながりを深めるためにも、今後また思いを一つに開催していくことを検討しています。

3

活動の幅も広がり会員の獲得にも 効果が生まれたクラブ間交流

地域の枠を超えた会員同士の交流も新たな流れを呼び込む

さまざまな事業を通して他クラブとの交流を深めることは、単に悩みを解決し不安を解消するだけでなく、互いに力を出し合うことでクラブの発展に繋がるということを学びました。

クラブ運営のいちばん近くにいて力を貸してくださる方は地域の方々です。他クラブの交流を深めることは、互いにその地域の人を巻き込み活動するため、よりたくさんの方にクラブの存在を知っていただく場となり、事業を多く行うことで認知度向上につながります。また、活動の幅も広がり財源確保や会員の獲得にも効果があると思います。

事業後に新規会員となり運動を継続する方や、地域の中で「総合型クラブ」が全国組織であるということを理解してくださる方も少しずつ増えてきています。そして、連携した隣町の夢クラブとのつながりから、当クラブのイベントに夢クラブの会員が参加するなど地域の枠を超えた会員同士の交流もでき、クラブに新たな流れを取り込むチャンスであると考えています。

クラブの活動が地域に浸透し地域と共に歩んでいくためにも、クラブ間の交流は必要であり、今後もさまざまなクラブとの交流が深められたらと思っています。

4

さまざまな組織と連携しながら 持続可能なクラブ運営をめざして

役割分担を明確に、一致団結でクラブの活動を盛り上げる

物価高騰や自然災害など不安定な社会情勢のなか、地域ではクラブを取り巻く環境が目まぐるしく変化しています。そういった変化への対応とクラブの発展に力を注ぎながら、持続可能なクラブ運営をめざしていきます。

【今後の目標】

- ・拠点である体育館の老朽化が進んでいるなか、利用者の安全を第一に確保し活動を継続するためにも、施設の改修等に関して市行政からの理解を得られるよう要望し続けること
- ・感染症や物価高騰の影響により減少した自主財源を回復させるために、会費や参加料の値上げ、魅力あるプログラムの提供、新規会員の獲得に向けた事業を展開すること
- ・地域から信頼され頼られる存在になりつつあることから、行政より新たな協働事業の依頼や施設の管理要請などの話を持ち掛けられているため、事務局員の増員と事務処理を効率化させること
- ・クラブを運営する4つの部会組織がクラブ運営に向けて一致団結する仕組みづくりを行うこと
- ・会員とクラブ理念の共有を図り、クラブの基盤を強化すること
- ・高齢者が多い町であるため福祉活動にも力を注ぐこと
- ・地域のさまざまな団体や他クラブとの連携を強化していくこと など

やりたいことは山のようにありますが、目的を達成させるために思いを共有し、役割分担を明確にしながら一致団結で活動を継続していきたいと考えています。

NPO法人しんじ湖スポーツクラブ クラブマネジャー 金山和美、狩野良太
アドバイザー 持田比佐子

クラブプロフィール

設立年月日 平成14(2002)年3月21日 平成18(2006)年7月3日 法人登記

所在地 島根県松江市

加盟チーム ジュニア部チーム(スポ少含む)10チーム
一般チーム(社会人チーム)13チーム

特徴

- ・地域住民による4つの部会がクラブ運営
- ・年齢やニーズに応じたさまざまな教室やイベントを開催
- ・地域ボランティア「しんじおやじクラブ」、「宍道歴史案内人」、「グリーンサポーターズ」
- ・地域と連携した事業の実施

連絡先 〒699-0406 住所: 島根県松江市宍道町佐々布204-4
TEL: 0852-66-8686 FAX: 0852-66-1414
HP: <http://shinjiko-sportsclub.com/>
E-mail: sports-shinji.no1@violin.ocn.ne.jp